

| 役 職 名 | 氏 名 | 在 勤 校 | 会 員 数 | 昭和48年度決算額 | 左のうち県費補助額 |
|-------|---------|-------------|-------|-----------|-----------|
| 理 事 | 桑 原 信 寿 | 福島市立立子山小 | | | |
| " | 川 村 繁 雄 | 福島市立大波小 | | | |
| " | 小 柳 昭 三 | 福島市立平石小 | | | |
| " | 柴 山 クニヨ | 福島市立平田小 | | | |
| " | 下 山 政 一 | 伊達郡飯野町立大久保小 | | | |
| " | 松 田 正 直 | 伊達郡川俣町立福沢小 | | | |

(2) 事業の概要

| 事 業 名 | 開催期日 | 開催場所 | 参加者数 | 研 究 主 題 |
|-----------------------------|---------------------|-------------------------|------|---|
| 研究大会 県山村教育研究会 中通り地区大会 | 昭和48年 10月29日 | 西白河 大信村立 大屋小 | 80人 | ○数学的思考力を高めるための学習指導はどうあればよいか。 |
| 浜通り地区大会 | 19月31日 | いわき市 田人二小 田人中 | 160 | ○地域性、規模性の特徴を積極的に生かし短所を補う指導はどうすればよいか。 小学校一人数学級における効果的な指導法の改善、特に算数の教育工学的指導について。 中学校一発表力を高め、ひとりひとりをより意欲的に学習に参加させるための指導はどうしたらよいか。 |
| 会津地区大会 | 11月1日 | 耶麻郡 市沢小中 | 120 | 小学校単式一人数学級の効果的指導はいかにあるべきか。 小学校複式一複式学級における直接指導と間接指導を効果的にするためにどのようにしたらよいか。 中学校一ひとりひとりに学習意欲をもたせるために個別指導はどのようにしたらよいか。 |
| 研究調査 | 昭和48年 6月～ 12月 | 各支部 | 全会員 | 小人数学級の指導と改善点。 |
| 研究成果刊行 | 昭和49年 2月28日 | 本 部 | 各支部 | 研究集録 第14号 『小人数学級の指導と改善』 |

8. 福島県特殊教育研究会

(1) 財政および組織の状況

| 役 職 名 | 氏 名 | 在 勤 校 | 会 員 数 | 昭和48年度決算額 | 左のうち県費補助額 |
|-------|---------|--------------|-------|-----------|-----------|
| 会 長 | 武 藤 義 男 | 福島市立福島養護学校 | 984人 | 694,333円 | 200,000円 |
| 副 会 長 | 長 田 長 雄 | 福島県立郡山盲聾学校 | | | |
| " | 武 藤 義 男 | 福島市立福島養護学校 | | | |
| 監 事 | 小 野 丑 藏 | 福島市立福島第二小学校 | | | |
| " | 佐 竹 虎 男 | 喜多方市立喜多方養護学校 | | | |
| " | 近 藤 登 寿 | 福島県立会津盲聾学校 | | | |

(2) 事業の概要

| 事 業 名 | 開催期日 | 開催場所 | 参加者数 | 研 究 主 題 |
|--------------|----------|----------------|------|----------------------------------|
| 研究大会 | | | | |
| ○第1部会事務務部研究会 | 48. 8. 7 | いわき市 | 50人 | ○寄宿舎における生活指導 ○就学奨励事務の取り扱いについて |
| ○第1部会共通大会 | 48. 8. 7 | いわき市 | 60 | ○養護訓練と生活指導 |
| ○第2部会研究大会 | 48. 9.20 | 田 村 郡 三 春 町 | 300 | ○多様化に応ずる心身障害児の教育はいかにあるべきか。 |
| ○第1部会養護部研究会 | 48.10.12 | 郡 山 市 | 65 | ○肢体不自由児の障害に応じた指導内容はどうかあるべきか。 |
| ○第1部会盲部研究会 | 48.10.18 | 福 島 市 | 40 | ○児童・生徒の体力づくりを意図した養護訓練 |
| ○第1部会聾部研究会 | 48.12. | い わ き 市 | 50 | ○豊かな語感を育てるにはどのような指導が望ましいか。 |
| 研究調査 | | | | |
| ○第1部会盲関係調査研究 | 49. 2 | い わ き 市 | 20 | ○漢字の分解指導 |